

# チャペル週報

神はわたしたちの避けどころ、わたしたちの砦。  
苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。  
(詩編 46:2)



2006 6.19 ~ 6.23 No.10  
関西学院宗教センター

---

## チャペル・スケジュール

---

時間 10:35 ~ 11:05 場所 各学部チャペル

---

- 6月19日(月) ランバスチャペルアワー 於、ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
神 ランバスチャペルアワーに合流  
経 樋口 進 (宗教センター宗教主事)
- 
- 6月20日(火) 院 窪寺俊之 (神学部教授)  
神 バロックアンサンブルによる音楽礼拝  
文 田淵 結 (宗教主事)  
社 人権を考える特別チャペル 武田 丈 (社会学部助教授)  
法 NPO法人かめのすけ  
経 舟木 讓 (宗教主事)  
商 古屋 桂 信 (カメラマン)  
総 角野 幸 博 (総合政策学部教授)
- 
- 6月21日(水) 神 土井 健 司 (神学部助教授)  
社 大切なこと 藤田忠弘 (人間福祉学部開設準備室主任)  
法 Christian M. Hermansen (宣教師)  
経 春井 久 志 (経済学部教授)  
商 ゴスペルクワイアPower Of Voiceによる巡回音楽チャペル  
理 人権特別礼拝「障害者とバリアフリー」松本尚男(兵庫県ボッチャ協会会長)  
総 今泉 信 宏 (宗教主事)
- 
- 6月22日(木) 神 キリスト教音楽にふれよう 2  
文 音楽チャペル バロックアンサンブル  
法 NPO法人かめのすけ  
経 舟木 讓 (宗教主事)  
商 English Chapel Richard Stinson (宣教師)  
総 上野 真城子 (総合政策学部教授)
- 
- 6月23日(金) 神 樋口 進 (宗教センター宗教主事)  
文 音楽チャペル ゴスペルクワイアPOV  
社 大切なこと Ruth Grubel (宣教師)  
経 舟木 讓 (宗教主事)  
商 中條 道 雄 (総合政策学部教授)  
理 「前進のための後退」松木真一 (宗教主事)
- 

ランバス早天祈祷会 毎金曜日 午前8:00~8:20 於:ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原)  
6月23日(金) 中学部のために 安田 栄 三  
総合政策学部早天祈祷会 毎水曜日 午前8:40~ 於 I号館312教室

---

# 私を変えた出会い

## 八 尋 孝 一

育った家庭・教育環境に全くキリスト教との接点がなかった私が、関西学院に赴任し、「チャペル週報」の原稿を書いている・・・考えたら不思議です。

中学2年生のとき、大好きだった女の子から放課後にもらったプレゼントの紙袋。期待一杯、帰り道に橋の上で開けたその袋の中身は、大量のキリスト教パンフレットでした。くやしさを余り、橋の上から川に放った紙袋が、ゆっくりと水面を流れ去っていく・・・その光景を今も鮮やかに覚えています。

その後、福岡の名門高校に無理して入学した私は、劣等感の虜になりました。周りは優秀で、個性豊かな者ばかり。中学時代は目立っていた自分が、ひどく霞んでしまった。何か自分の存在を、根っこから支えてくれるものはないのか。そんなとき、家の近くにあったキリスト教会の、特別集会の看板が目に入りました。ここに何かあるかもしれない。その集会に出席したのを機に、私は日曜礼拝に出席し、自分で聖書も読み始めました。聖書を読んでいると、これまで気づかなかった自分の姿が見えてきます。「喜ぶ者と共に喜び、泣く者と共に泣きなさい」、しかしそれと正反対の思いを抱いてしまう自分がいる。認めたくないけれど、それも確かに自分。「こんな自分は教会に行ったり聖書を読む資格はない」と感じ始めていた頃、次の聖句と出会いました。「医者が必要とするのは、丈夫な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招くためである。」(マタイ9:12・13)そのとき私は、こんな自分でも、いや、こんな私だからこそ、主イエスという方に招かれていると感じました。この聖句と出会った高3のクリスマス、私は洗礼を受けてキリスト者になりました。私が求めて見出したのではなく、今も生きて働いておられる復活の主イエスというお方の方から私に出会い、私を見出してくださった、そう信じています。この出会いが、私を関西学院に導いてくれました。出会いには人生を変える力があります。今も多くの欠けと弱さを抱える私ですが、主イエスというお方に自分の存在の根っこを支えられ、日々慰めと力をいただきながら毎日を過ごしています。

(高等部教諭)

## 吉岡記念館 連続写真展

吉岡記念館 1階ラウンジで『この時代を生きる』をテーマに4人の写真家の作品展及び講演会を行っています。普段、新聞・テレビが伝えないビルマ、グアテマラ、フィリピン、チベットの人々を困難に置かれた側から生き生きと伝えていきます。皆様に、今、生きている世界を見る目を持っていただきたいと願っています。

6月19日(月)午後～23日(金) 古谷桂信氏 グアテマラ

「湖水とともに生きる グアテマラ サンティアゴ・アティトラン」

講演会：6月20日(火)15:10～16:40

6月26日(月)午後～30日(金) 中井信介氏 フィリピン

「フィリピンの人々」

講演会：6月27日(火)15:10～16:40

7月3日(月)午後～7日(金) 兵頭千夏氏 チベット

「チベット・カイラス巡礼」

講演会：7月4日(火)15:10～16:40

## 神戸三田キャンパスチャペルオルガニスト募集中

理工学部と総合政策学部の学生チャペル・オルガニストを募集しています。

リーフレット、募集要項、応募用紙は神戸三田キャンパス事務室(1号館キャンパス担当)にあります。詳細は、吉岡記念館事務室宗教センターでお尋ねください。(0798-54-6018)

また、募集要項、応募用紙は関西学院宗教センターホームページからダウンロードできます。  
[http://www.kwansei.ac.jp/christian\\_center/](http://www.kwansei.ac.jp/christian_center/)

## 第169回ランバス演奏会

リコーダー・アンサンブル「レアール」リサイタル

本学吹奏楽部の卒業生が中心となって結成されたアンサンブルです。

プロの演奏家を迎えて、常にレベルの高い演奏を目指しています。

とき：6月27日(火) 午後5時開場 5時30分開演

ところ：ランバス記念礼拝堂(西宮上ヶ原) <入場無料>

### 聖書の植物(5) テレビンの木(カイノキ)

吉岡記念館の周りの庭(現在名前を募集中)に植えられている聖書の植物の5回目は「テレビンの木(カイノキ)」です。これはウルシ科カイノキ属の大きな落葉樹で、樅(ブナ科コナラ属)とは異なります。しかし、聖書ではこの両者は混同されています。樹高は10～13mくらいにもなり、夏季にはよい日陰を作ります(創世記18:1)。大抵は一本立ちで、茂みや森林になることはありません。ヘブライ語ではエラーと言いますが、この文字には「エル(神)」の文字が含まれるので、力や強さを象徴しました。かなりの大きさになり、寿命も長いので、古代においては樅と同様聖なるものとされ、そのそばに聖所や墓地などが作られました(ホセア4:13)。アブラハムはカナンに移住したときに、マムレのテレビンの木(新共同訳は「樅の木」)のところに祭壇を築きました(創世記13:18)。

葉は、いくつかの小葉からなる複葉で、冬に落葉します。雌雄異株で、ぶどうの房状の赤味を帯びた実を結び、食することができます。実からはタンニン油を取ることができ、また樹皮を傷つけてテレビン油を作りました。これは香料や薬用に使われました。